



令和6年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和6年7月10日(水)14時から
場所	江迎地区文化会館インフィニタス コミュニティホール
テーマ	まちづくり活性化について ①外からの流入によるまちづくりの活性化について ②その他
出席者	地域参加者14名、市議会議員2名、市長ほか関係者4名 合計20名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

①外からの流入によるまちづくりの活性化について

地域参加者

- クルーズ船の外国人観光客に停泊中に江迎に来て体験をしてもったらどうだろうかということで、繭玉や下駄を作って持って帰ってもらったり、白岳山や長坂を登る、花手水を活けてもらうなどのメニューを考え、こういう事業を担っていただく方に集まって出資をしていただいて会社を作る。その会社で呼び込んでいこうということを考えている。西九州自動車道が江迎を通る8、9年先ぐらいに向けて進めていったらどうだろうか、こういう企画も始めていることを知っていただいて、1つ論議の素材にしていただければと思う。
- 体験メニューの中に山野草を、作り方の体験等を入れ込んで。山野草は時間がかかるがお金になるのではないかなと思う。
- 山野草を日本で教えて外国でつくることを提案している。江迎で山野草を買って外国に持って帰らずとも、価値を付けるような値段をつけておいて、こういうものを国に帰って作りませんかというふうな体験。この体験にお金をいただいたらどうかかなと思っている。
- 活性化協議会の1つのさるくガイドクラブはインバウンドのお客様を含めた観光客に対する案内役を担っている。その中身を深めるために町の歴史などを勉強しており、学んだことをお客様に肉声で伝えたいと思っている。おもてなしということで、翻訳アプリを介するのではなく、直接の会話を通じてお客様に思い出を提供することで佐世保への再訪意欲を高めたい。現状では挨拶程度の英会話しかできないため、コミュニティセンター等を集まってお客様と会話をできるような英会話の勉強会をしたい。そういうソフト面の補助をお願いできれば。そういうことがお土産販売等にも繋がるのではないかなと思う。



令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

①外からの流入によるまちづくりの活性化について

地域参加者

- クルーズ船が寄港したいという連絡はどれぐらい前から市の方にあるのか。外国人観光客に体験をしていただきたいということで皆さん方をお願いしているところだが、準備に時間がかかる。馬鈴薯の収穫等についても寄港の何ヶ月か前には準備が要ると思う。前もってお知らせいただければなと思ってお尋ねした。
- 高巖が平成28年に国の天然記念物に指定された。江迎地域には高巖のほかに、平成27年に指定された潜龍水や平戸八景・北松八景の奇岩が2つある。しかし、先だって行われた文化財に対するアンケート調査の際に潜龍水がリストに載っていなかったことに疑問を感じている。
- 高巖が雑木で覆われていて3分の1ほどしか現物が見えない。せっかくの国の文化財なので少し表面化することができないかと思う。
- 地主の方には、栗の木以外の雑木を切ることの承諾を得ている。
- 5年前に「平戸八景を考える会」が設立され、その中で八景全体の整備関係の協議が進みしだい順次着手するという回答をいただいていたにもかかわらず3年が経過しても進捗が見られなかったため、市政懇談会でも発言をさせていただいた。それからまた時間が経っており、現状を見ると非常に寂しい状況下にある。江迎の国指定の文化財のひとつである潜龍水の方は立派に整備をされて公園化されているが、もうひとつの高巖が少し寂しいなという気がするので、ぜひともこれらの整備にお力添えをいただければと思う。
- 高巖の下に通っている道路は平戸街道の一部である。吉田松陰も長崎の街道を通り、山下の本陣の方に泊まって平戸に向かったということもある。平戸街道も文化財の方に名前だけでも載せられたらと思うので、あわせてご整備の方を是非ともお願いしたい。



令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

①外からの流入によるまちづくりの活性化について

地域参加者

- 会議では高巖という景観がどこから見たらいちばんいいのか等具体的なところまで話し合った。ある程度開発をする、予算をつけるということだったが、何もない。前任者からどのような引継ぎがあったのかを教育長にお聞きしたい。引き継ぎがなかったのではないかなという推測はしているが、そのあたりを正直言われて、今後きちっとされた方がいいと思う。
- 当初、高速道路はあまり目立たないように作るという話だったが、今どう見ても目立っている。すばらしい景色が平戸にあると観中・熙公が平戸八景を作っており、京都の嵐山に見立てて紅葉を見て楽しんだという記録が残っている。現況を見ると、どうしても高速が目立つ。平戸八景は他にも小佐々の大悲観等たくさんあっていろいろな事情はわかるが、木が生い茂っているので整備もひとつ考慮していただければと思う。
- 高速道路の件。吹き付ければ色がついて、年数が経てば自然と苔たようになる色粉というものがある。コンクリートが目立つので、見えるところにはその色粉をつけてくれという打ち合わせを国としてください、とお願いした。価格もそんなに高くないのでそれをお願いしたらどうかとお願いしたが、その辺りもされたのか。
- 色粉は計画の段階で入れていたらものすごく安くて効果がある。メンテナンスにも費用がかからない。それを建設省とかに何も言わずに色を後で塗るとなると、莫大なお金かかる上に雨で色が落ちる。だから初動というのがとても大事だということを役所の人には知っていて欲しい。我々が地域のことで一生懸命そういうアイディアを出しても、それを伝えていなければ一緒なので、こういう絶望感を抱くようなことはやめていただきたい。職員としては、やっぱり初動をきちっとやってほしい。



令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

①外からの流入によるまちづくりの活性化について

地域参加者

- もう多分もうあの派手な白い、灰色のコンクリートが緑色になるのは難しいと思う。市が国へ伝えたのであれば国の責任だが、伝えていないのであれば、取り返しのつかないことを佐世保市の職員がやったということ。そういうところを真剣に考えて、やはり地域のこと、佐世保市のことを考えたいと思う。
- 現在おられる皆さんも何十年というわけではない。我々は役所の支援や提案について精査し、必ず総会にかけてコミュニティ・協働推進課に出さないといけない。だから我々地区内では全部継続している。ところが役所は途中で話が消えている。役所もちゃんと引継をちゃんとやってもらわないと困る。
- 私も同じことを申し入れた。コンクリートを打ちっぱなしではみっともないので色をつけてくれと言ったら、「今の段階ではそれは無理です」という答えが返ってきた。ではいつの段階だったらいいいかと尋ねたりしたが、とにかく「できません」という回答だった。建設省、国交省あたりの説明会で青写真ができ上がってくると、その変更にはかなりのエネルギーが要る。長崎県も関係したことかと思うが、もう一切変更のできない図面を持ってきて、そして承認を取っていく。役所の最初のとっかかりが駄目である。



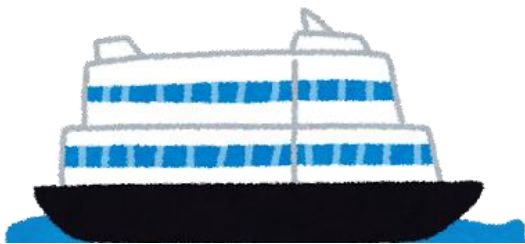
令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

①外からの流入によるまちづくりの活性化について

経済部長

- 「外からの流入によるまちづくり活性化について」ということで、企画書を先ほど見せていただいた。観光客も積極的に受け入れていきたいということについては、我々観光振興を携わる部署としては非常に本当にありがたいことだと思っている。まず経営主体について、何事も進めていくには責任の所在をはっきりさせておく必要があるというところで、ここを任意団体ではなくて合同会社を設立した上で実行されていくというところは本当に心強く思っている。
- クルーズ船は三浦地区と浦頭地区の2港体制で運用されているが、令和6年の4月から6月までの間に中国からのクルーズ船が特に多く、17隻、それ以外に台湾、香港、韓国、欧米からのクルーズ船が合計6隻寄港した。中国からの観光客は主に免税店で買い物を楽しむことが多い一方で、他国からの観光客は「コト消費」として現地の文化や体験を重視する傾向がある。特にこの江迎地区については、観光商圈として捉えたときに、平戸、松浦、江迎が一体になっていると感じる。クルーズ船が入ってくると大型バスをチャーターして1バスつき40名程度で動かれているが、平戸に行かれるバスが多い状況下で、そこのお客様をどう取り込むかというところ。
- クルーズ船に限らず、飛行機で来られているお客様もいるのでそこをターゲットにする。



令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

①外からの流入によるまちづくりの活性化について

経済部長

- 体験型ということになってくると日本全国からお越しいただける魅力があると思っているので、インバウンドということに限らず日本人の方にも興味を持っていただいけるように広げていっていただきたいと感じている。
- 見せていただいた体験メニューは22種類もあり、農業体験、企業体験、スイーツや食、文化体験など案も多種多様である。特に食べ物は人を引きつける力があるので、そこを抽出していければ良いのではないかと。また、こういう取り組みをしているということをしっかりとアナウンスしていく必要がある。知って、体験して、記憶に残していただくというサイクルを回していく必要がある。多くの子どもたちが千灯籠祭りに参加して記憶に残しているように、記憶に残す取り組みにつなげていっていただきたいと思うし、我々も応援させていただきたい。
- 外国人相手に気持ちを伝えたいというところでの英会話だが、現在経済部では補助金を用意していない。佐世保市地域コミュニティ推進事業補助金を活用して公民館主催でされているところもあるし、実践的な場面に合わせた英会話というところでは社会教育課の方に「English出前プログラム」という制度もあるので、そういったところをご案内させていただく。
- 佐世保港に入港するというおおまかな情報は大体半年前ぐらいから入ってくる。実際観光ツアーの商品の販売は乗客が乗船されてからになるため、船社によって変わってくるが、最終的に確定するのが3日前とか。極端な言い方をすると、前日しかわからないとか、当日になって行程が変わったりするので非常に厳しい状況下にはあると思っているが、そこは当然改善されていくと思う。クルーズ船以外の飛行機だと、エージェントを通して、事前に「こういったツアーを組みますよ」という声かけになるかと思う。クルーズ船は1バス40名というような話になるので、受け入れる体制としてはなかなか難しい部分もありながら、その点も改善をしていきたい。

令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

①外からの流入によるまちづくりの活性化について

教育長

- これまでのアナウンス不足をお詫びしたい。
- 全国で平戸八景ほど当時の状況がそのまま残っている場所は少なく、多くが取り壊されたり開発されたり、形が随分変わったりしている。平成27年に国から文化財の指定を受けたが、同じタイミングで西九州自動車道路の延伸計画が起きた。国交省の方も通常の道路の延伸と同じようなスタンスで考えておられたが、文化財指定を受けたことでどうしたものかと困られ、国交省、文化庁、長崎県、佐世保市、そして会長たちにも入っていたいて、一定の方向性を見つけていただいた。その意見を反映しながら国交省の方が絵図を書かれ、この図で大丈夫かを文化庁に申請されて、文化庁の方がそれを精細な審査をした上で、「良」という判断をいただいて今工事が進んでいるというのがこれまでの経過である。
- 色粉の話は初めて聞いた。伝えたかどうか、どのように伝えていてどのように返事が来ているかを、戻って調べ次第すぐ連絡をさせていただきたい。
- 平成28年、29年に審議をいただいたときのテーマは「高巖の保全」であり、そのための道路計画などが話し合われた。保全はどう残していくか、活用はどう生かしていくかだが、前回は保全のあり方だけで、活用をこうしようというところまで至ってなかった。私たちの方針としては、「高巖の保全」を「平戸八景の活用」というスタンスで組み直さなければならないと思っている。現在、佐世保市全体の文化財の保存計画を作成した上で平戸八景の保存活用計画を作り、その活用計画をベースに国県の方に補助金を申請して、きちんとした整備をしていこうと考えている。そのため本格的な平戸八景の保存活用のための整備は令和9年度ぐらいが目途になるのではないかなと思う。
- すぐに可能な取り組みとして、高巖の玄関口となるMR高岩駅の合併町時代につくられた掲示板を今年度中にすべて作り直し、令和9年を目途に平戸八景の活用計画を作って、本格的な作業に入っていきたい。その際は皆様にぜひ参画いただいて、ご意見を頂戴しながら外からの流入ができるような活用ができないかなと思っている。

令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

①外からの流入によるまちづくりの活性化について

市長

- 従来のインバウンドのクルーズ船のイメージは、大体大型バスを何台も連ねて免税店を訪れ、そこで買い物をして帰るというのが基本だった。特に中国系の免税店に行き、そこで買い物をしてお金を落とすのが1つのパターン。このパターンも残っているが、中国人の趣向が変わってきている感じがする。就任以来、クルーズ船の営業活動を行っているが、船会社の会長や社長からは「佐世保に停まった際、どのような楽しみ方ができるのか」と必ず尋ねられ、この問いに対して、「佐世保には素晴らしい酒蔵や三川内焼き、ハウステンボス等があるので、それを楽しんでいただければ。」と提案している。そこでもう一声売り文句として、訪問先でどういう楽しみができるのかをかんがえている。例えば江迎の潜龍酒造で体験をしていただき、そこにさらにプラスアルファの付加価値があれば、私たちも売り文句を言いやすい。会長からお話があったが、江迎で2～3時間楽しめる体験コースを作っていたいただければ、私も訪問時にそのようなことを具体的に説明ができて営業ができるので、ぜひそこは市と連携してそのメニューを迎えて作っていただきたい。
- 今までは物を買うという物消費というものが大きかったが、今は訪問先でどのような体験ができるかというコト消費と言われる部分が非常に伸びてきている。そういう意味でも、その地域に行っているいろいろな体験ができるというものが非常に重要になってきているのではないかと思っている。
- インバウンドというのはクルーズ船だけではなく、他の外国人観光客や日本人観光客の方にもどんどん来てもらうような仕組みを作っていきたいと思っている。それぞれの地域地域でしっかりとメニューを作っていければと思う。これからも1人でも多くの方に観光客が来ていただけるように営業を繰り返していきたい。
- 経済部長が申したことの補足として。中国に限らずこの業界では突然の予定変更が頻繁に起こるようで、なかなかお伝えしにくいところがある。

令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

①外からの流入によるまちづくりの活性化について

市長

- クルーズ船に関しては来ていただくことが目的ではなく、佐世保に来ていただいて地元にとれぐらい経済効果があるのかだと就任以来申し上げている。ここがないと、いくら船が来てもらっても意味がないということを口酸っぱく言っているところで、今経済部、港湾部、佐世保コンベンション協会が1つ協議会を作って連携をとりながらそうした情報を管理し、それをどうやって地元の経済の波及効果の中につなげるのかを一体として協議してもらうような場を作った。訪問する船の国籍や人数、乗客層について、「この国からこういう方が来れば、こういうものが売れるな」というような準備ができるように早期に地元の皆様に情報提供をできるようにしていきたい。経済効果を最大限に引き上げるとというのが目的なので、そこは皆さん方と一緒にまた考えていきたいと思う。



2024.7.10 江迎地区

令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

②その他

地域参加者

- 江迎には他の地区のような運動場や野球場がなく、千灯籠タワーを立てる中央公園ぐらいしか広場がない。先日公園課に来ていただいて、もう少し明るくできるように水銀灯等を増やしてもらえないかをお願いした。江迎の一番のイベントである千灯籠祭りに来られた人の江迎の印象を良くするため、公園周辺をもっと明るくして様々な活動ができるようにしたい。その辺をご協力いただければ、明るい公園ができるのではないかと思います。
- 白岳の運動場も、管理者の方だけではなくグラウンドの愛好家みんなで芝刈りをしている。江迎には本当に人が楽しむ場所が少ない。その辺を考えて、せめて江迎の中央公園のタワーの周りの明るさだけを何とかしていただければ、それに伴って私たちも一生懸命、町民一体となってあの辺の周りを綺麗にしたいと思う。
- 江迎町には遊園地や街中の公園等、小さい子どもを育てる施設がない。
給食センターで取っていたアンケートの結果では、朝ご飯を取っている子は50%しかいないらしく、これでは体の良い子、頭の良い子は育たないと思う。
- 1校時目に食の大切さを教える時間帯を設けて食育をしてはどうか。朝早くから朝食の準備をするお母さんがものすごく楽になり、数年かかるかもしれないが人口増にもつながる。教育委員会あたりに申し出をして、改革をされたらどうか。また、その給食を農家で青果市場に出せない二級品のにんじんや大根で作ることができるので農家への収入も見込める。今農家が疲弊しているので、なにかその辺を関連付けてやれないものか。



令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

②その他

地域参加者

- 佐世保市には江迎にしか婦人会がない。いろいろな活動をしているという自負があり、江迎町に婦人会は絶対ないといけないと思っている。
- 繭玉祭りでのお客様の接待や道案内、千灯籠祭りでのごみの分別収集、文化祭でのだご汁の提供や花壇作りの際の小学生との花植えなど多くの活動を行っている。
- 運転資金がないという問題がある。昨年から年に数回「笑迎WEEK」というのを行っており、花手水を作っている。春に花がなく、高い。各家庭から持ち寄っているが、それでは足りない場合がある。何をするにも資金がない。自治会から資金をいただいている活動もあるが、その他はトイレ掃除や駐車場の案内等をしてお金を稼いでいる。そういう状況なので、婦人会に資金をお願いしたい。
- 市民文化ホールやアルカスSASEBO等は、指定管理者制度に基づいた施設の管理をされている。江迎地区文化会館はコミュニティセンターの施設の一部として町民の皆さんに積極的に活用していただいているが、文化の拠点なので、その指定管理制度を用いた管理をご検討いただけないかなと思っているところである。文化協会のメンバーとしてこの文化会館の活用も当然ではいるが、むしろそういった指定管理者制度を用いて外部のお力も借りながら、文化の拠点のひとつとして管理できればと、地域、そこからの流入という観点の文化活動ということで、この場を借りてお願いしたい。



令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

②その他

地域参加者

- 白岳もだが、指定管理者制度については、町民にとって使い勝手がいいのか悪いのかをよく考え、意見を聞いていただけてからしてもらいたい。指定管理者になれば開館時間や休館日等制約があり、江迎のような小さな町で町おこし等をしようとしているグループには使い勝手が悪いということもあるので、簡単に決めずに考えてからにしてほしい。



2024.7.10 江迎地区

- 前年度まで放課後子ども教室でいただいていた70万円ほどが今年度30~40万円ほど減額され、教育委員会に申し入れた結果60万円になった。来年度以降また10万円ずつ減る予定になっているという。現在有償ボランティアで運営しているが、子どもたちが少なくてもそこに関わる広さ、見守りについては変わらない。人口減少もあり、財源の問題はあると思うが、市はコミュニティスクールを増やしている。増やしていく一方で限られた予算が減っていく。予算が減っていくと市内の放課後子ども教室が運営できなくなり、減っていくのではと心配している。放課後子ども教室の予算が減らない方法や、拡大できる方法がもしあればと思う。
- 国の方で様々な子育て支援をしているが、それと逆行しているのではないか。今からの子どもを育てるのはやっぱり地域だと考えるので、そこをもう少し考えていただければと思う。



令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

②その他

市民生活部長

- 公園の照明について公園緑地課や観光課等の関係各課と話をした。据え付のライトは難しいため、お祭りの時に移動可能なライトアップ設備を検討する意見が出た。
- コミュニティセンターの建て替えに伴って、駐車場の上の公園のすぐ下の所にも手すりや階段を整備するようにしている。その中で外灯が暗いということで、予算内でLEDの外灯の設置を計画している。まずはできるようなところから対応させていきたい。
- 前の経緯を調べたところ、合併後の3年間は経過措置として市から補助を交付させていただいていた。その後、教育委員会から生涯学習推進協議会宛に地区生涯学習推進事業補助金として50万円が交付された。今地区自治協議会の中で、コミュニティ・協働推進課の地域コミュニティの活性化補助金と教育委員会からの50万円と合わせて、人件費130万円と活動費90万円も合わせたら270万円ぐらい。大体そのぐらいもらっておられると思う。
- こちらは特化してものすごく活動されているという内容だったので、温度差が違うのかもしれないが、他に中でなでしこ部会とか作っておられる自治協議会もある。
- 現在自治協議会への補助金には用途に対して制約があり、該当年度が終わると返却してもらっている。余っていても使えないというお金を今後自由に使えるようになれば、今までなかなか浸透しなかった婦人会の方にも支援できる可能性が広がってくるのではないかと考えている。他の地域にはそういう地域婦人会がないので、ここだけ「じゃあ作りましょう」というのが現実問題厳しいため、今の補助金制度を少しやりやすい制度に変えて、そこから何かしらかご支援を受けていただくのが一番現実的ではある。まずはやれるところをということで頑張りたい。

令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

②その他

市民生活部長

- (江迎地区文化会館について)現在コミュニティセンターとしてのこの施設を市民生活部が所管している。議会からもそういうご意見をいただいているところもあるので、文化という側面からそういう管理ができないかというところは今内部で検討中である。もうしばらくお時間をいただきたい。

教育長

- 広くご意見を聞かせていただきながら調整させていただきたいと思う。

2024.7.10 江迎地区



令和6年度江迎地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくり活性化について

②その他

市長

- 政策やいただく要望を実現するには財源が必要であり、それらに應えるためには並行して財源の確保を考える必要がある。選挙時に立てた99の公約の中の一つに地域予算を掲げているが、地域でそれぞれ自主的に予算を使える仕組みや制度を作れば良いのではないかと考えている。江迎にしか婦人会がないように、地域ごとにやり方や事情が異なる。そういう中で婦人会の皆さんのサポートをしていくためには、江迎ならではの予算の使い方があると思う。各地域で予算を柔軟に使える仕組みができればと考え、内部検討を進めている。まだ制度設計はできていないが、他の自治体の事例も参考にし、議会とも話ししながら進めたいと思う。少し時間はかかるが、江迎の予算を確保できるような仕組み作りを頑張っていきたい。
- 余談だが、教育という側面とした柱をしっかりと持ちつつ文化スポーツをどうやって地域振興・まちおこしに生かしていけるのかということから、これまで教育委員会の範疇だった文化スポーツという事業を今年度から市長部局の方に移して文化スポーツ部を新設した。

- 文化やスポーツの持つ力というものは大変大きなもので、子どもたちに与える影響も大きい。若い皆さん方にこの地域に残ってもらうための1つの要素として「この地域に住めばいろいろな文化やスポーツを楽しめる」という仕組み、受け皿というものがあれば、若い皆様方からも選ばれるのではないかなと思う。シティブランディング・プロジェクト「選ばれるまちSASEBO」を目指して頑張りたい、その大きな1つが文化スポーツではないかと思うので、いろいろな団体の皆様方のお声を聞きながら文化スポーツの充実に取り組んで参りたい。

